

福祉用具講習会のご案内

「持ち上げない介護」 摩擦軽減用具で腰痛対策と褥瘡予防

1.主催 愛媛県社会福祉協議会・介護実習普及センター

この講習会は、愛媛県福祉用具・住宅改修活用推進事業の基礎研修会として開催します。

2.実施主体 愛媛県福祉サービス協会

3.期日 平成30年7月 20(金).21(土).25(水)

4.会場

7/20 (金)	中予会場 松山 愛媛県総合社会福祉会館 研修室	松山市持田町3丁目8-15
7/21 (土)	東予会場 西条 道前荘	西条市小松町大頭1085
7/25 (水)	南予会場 宇和島 きさいや広場 市民ギャラリー	宇和島市弁天町 1-318-16

5.内容

平成25年、厚生労働省労働基準局では、新規職場における腰痛予防対策指針を発表した。介護・医療施設の腰痛の発生は、増加をつづけ、介護・看護業務に関する腰部に負担の少ない介護介助法など、腰痛予防の知見を踏まえて改訂され、事業者の責任を明確にし、安全衛生管理体制などの義務化や作業態様別の予防対策、「労働者には腰痛の発生に関する要因とそ回避・低減措置について適切な情報を与え、十分な教育・訓練ができる体制を確立すること」とし、各施設の腰痛予防対策の取組の実践報告も義務化されます。

今回の研修は、摩擦軽減用具の使用をテーマに取り上げ、施設の介護・看護職の方々の悩み・腰痛対策と褥瘡予防「持ち上げない介護」・・・介護者の安全を考えた、体位変換をご紹介します。この講習会にご参加いただき、各事業所内の指導や在宅家族介護者の指導にお役立っていただきたいと思っています。(詳しくは、別紙内容を参考にしてください)

9時00分 受付

9時30分 講義 介護の現状・・・摩擦とズレを起こし、褥瘡を悪化している
介護者の現状・・・持ち上げる介助で腰痛に悩んでいる
① 現状の確認と対策・・・活用したい福祉用具の紹介

12時00分 昼食

13時00分 ② スライディングシートを利用した体位変換
持ち上げない介護に挑戦 体位変換 実技指導

16時00分 終了予定

6.講師 講師 愛媛県社会福祉協議会 介護実技指導員

腰痛予防労働衛生教育インストラクター (中央労働災害防止協会)

守谷 理佐 氏 (介護福祉士) 他 3名予定

7.参加者 看護師・ヘルパー・介護福祉士・ケアマネージャー福祉用具貸与事業者等
職務実績 2年以上で 地域・職域で指導的な活動ができる方。

8.参加費 資料・研修費 3,000円 当日受付にてお支払いください。

9.募集定員 各会場 30名 実技を伴うため体位変換等 実習のできる服装でご参加下さい。
トレーニングウェアがよいです。

10.申し込み 別紙申込書にてFAXまたはメールにて申し込んでください。6月 30日締め切り

11.問い合わせ 愛媛県福祉サービス協会 事務局 近藤

展示場直通 TEL 089-921-8348 FAX 089-921-8397

参加者受付定員 各会場 30名 です

「持ち上げない介護」 摩擦軽減用具で腰痛対策と褥瘡予防 講習会の 要点

はじめに、

摩擦とズレを起こし、褥瘡を悪化している、持ち上げる介助で腰痛に悩んでいるこんな現状で悩んでいませんか？

社会福祉施設や医療分野等においては、雇用労働者数が過去 10 年で約 2 倍と急増しており、災害増加率は、それを上回ってこの 10 年で約 2.5 倍近くになっています。特に腰痛については、社会福祉施設をはじめとする保健衛生業において、最近の 10 年間で 2.7 倍に増加しています。

また、平成 25 年 6 月に厚生労働省が公表した「職場における腰痛予防対策指針」においては、「労働者には腰痛の発生に関する要因とその回避・低減措置について適切な情報を与え、十分な教育・訓練ができる体制を確立すること」としています。

今回の研修は、以上のことを踏まえ、福祉・医療分野において、腰痛予防のために、適切な福祉用具の取扱方法を学ぶ実習を多く取り入れ、その正しい取り扱い方と知識を習得し、広めることにより、腰痛予防対策の周知と推進を図ることを目的に実施するものです。

あなたの介護が褥瘡を作っていませんか

介護で腰痛に悩んでいませんか

褥瘡予防と腰痛予防への取り組みを実行してみませんか

- 摩擦とズレが褥瘡を作る・・・スライディングシートは、褥瘡予防に欠かせない
- 褥瘡予防に体圧分散と徐圧・・・マルチグローブはあなたの必需品
- 腰痛の原因を理解する・・・腰痛予防対策指針をご存知ですか？
- 介護技術の見直し・・・腰痛になってあたりまえ？・・・安全な介護への提案
- 持ち上げない介護・・・体位変換と摩擦軽減用具移乗・・・実技の習得
- 福祉用具を利用する・・・利用者・介護者双方の安全が重要です

講習会にて使用する用具の紹介です

①マルチグローブ 除圧・体位変換に

※介助する方が腕にはめて、ご本人様の身体の下に差し込みます。
腕の厚みで身体を浮かせ、滑らせて移動できます
内側は作業しやすいように滑りにくい素材を使用



②体位変換補助シート

介助時に体と寝具の間に敷き込むことで
寝具上での移動や体位変換時に発生する摩擦を
大幅に減らします

(利用者の声) 体位変換シートは多くの介護現場でも使用されている
そうです。筒状のナイロン製シートで、体の下に敷いて使うので
すが、これを使うと移動や移乗が少しの力で出来てしまいます。



ホントこれがあるのとないのでは、雲泥の差！ほとんど力を入れなくて済むので重宝しています。
ある医療安全週間に募集した標語、院長賞は、
「見たつもり、言ったつもり、つもりをもってミスとなる」に、
理事長賞に「いざえもん、ラクラク動く すぐれもん」が選ばれた。

【スライディングシートの使い方】

体位変換用に様々な「スライディングシート」が販売されて
います。今回は「移座えもんブラック」をデモに各種
紹介します。介護する側・される側、共に楽に移動が出来る
すぐれ物

褥瘡の予防にもなる、使い方を理解しないと、せっかく
の優れ物♪も、いまいちってことになります

この講習会の実技で、明日から実践できます
スライディングシートは、すべりやすい生地で作られた
筒状のシート・・・・・・MサイズとMLサイズがあり、
対象者の体格や残存能力により、使い分けて下さい

その他 各種メーカーの商品も紹介します

